

クロザリル患者モニタリングサービスにご登録された医療関係者のための情報誌

CPMS

ニュース

発行：ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

Vol. **68**
2026
Autumn



Contents

センターインフォメーション

- ・令和8年熊本地震におけるCPMSセンターの対応について
- ・令和8年8月にいただいたCPMSセンターへの問い合わせについて
- ・年末年始における血液検査の実施と報告について
- ・CPMS登録保険薬局での院外処方箋応需の資料掲載場所について

クロザリル適正使用委員会 事務局インフォメーション

- ・インフルエンザ等の感染症にかかると、白血球が一時的に減少する可能性があるためご注意ください

ご注意ください

- ・CPMS規定不遵守例

センターインフォメーション

令和8年熊本地震におけるCPMSセンターの対応について

この度の令和8年熊本地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さま並びにそのご家族の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

被災されたご施設においては、停電や断水等の影響により通常診療が困難な状況においても受け入れ可能な近隣施設との連携をとっていただき、患者さんへの対応を進めていただけましたこと、また、規定されたCPMSの運用にご協力をいただけましたことに心から感謝を申し上げます。

CPMSセンターとしては、今回の震災による特別な対応は行いませんでしたが、被災されたご施設や近隣施設からのお問い合わせには個別に対応をさせていただきました。

[CPMSニュースVol.58 2024年Spring号](#)に「[震災等災害時のクロザリル処方について](#)」を掲載しておりますので、今一度ご確認をお願いいたします。

令和8年8月にいただいたCPMSセンターへの問い合わせについて

令和8年8月にCPMSセンターへお問い合わせをいただいた中から、CPMSセンターへのお問い合わせの手間が減らせるかもしれない内容を以下に記載させていただきますので、今一度ご確認ください幸いです。

登録

Q：施設に応援にきてもらう医師がいますが、医師の登録というのは医療機関ごとになるのでしょうか。それとも登録医であればどの施設でも処方できるのでしょうか

A：登録医への登録は個人になりますが、医療機関に紐づけての登録が必要になります。

別の医療機関で処方する場合には、異動や追加などの手続きを[適正使用委員会HP](#)の[様式8](#)にて行ってください。

開始

Q：新規の患者さんを登録し、2次承認まで完了したら必ずセンターへ連絡が必要なのでしょうか

A：患者番号が発番されていれば連絡は不要ですが、要請中という表示の場合には、確認事項があるため連絡をお願いします。

Q：通常は登録医が一次承認をしています。薬剤師でも一次承認が可能なのでしょうか

A：役割（登録医、コーディネート業務担当者等）が異なれば承認の順番に規定はありませんが、施設内で規定を設けている場合には、その規定に従って承認をお願いします。

検査

Q：本日の血糖・HbA1cの結果がプロトコールBでしたが、プロトコールCと表示されるのはなぜですか

A：プロトコールは一度Cになると注意喚起のため、数値が改善してもプロトコールCと表示されます。

プロトコールの検査間隔を変更したい場合には、糖尿病内科医と相談をしていただき、プロトコールAやBの間隔でよいとの指示を受けた場合には、「報告書」の「内科医と相談」の項の「検査間隔の変更」で、「プロトコールBの間隔に変更し、継続投与する」もしくは「プロトコールAの間隔に変更し、継続投与する」を選択してください。

スケジュール

Q：血液検査の結果がイエローとなった場合には、週2回の検査が必要で原則4日以内と記載がありますが、これは当日を含んで4日後という理解であっていますか

A：当日は含まず、4日後となります。例えば、木曜日の検査でイエローとなった場合には、翌週の月曜日が検査期限日となります。

薬

Q：外来患者さんの都合で次回検査期限より早い来院となる場合、残薬が発生しますが、残薬を除いた分の処方になるのでしょうか、それとも次回検査期限日までの処方が可能なのでしょうか

A：処方は次回検査期限日までの処方となりますので、残薬を調整して検査期限を超えないように処方をしていただくか、残薬を回収し、次の検査期限までの処方をお願いします。

その他 (eCPMS)

Q：eCPMSで次回の予定日が赤字で表示されるのはどのような場合でしょうか

A：次回検査期限日より前に検査日を設定している場合には注意喚起のため赤字で表示されるように設定されています。

年末年始における血液検査の実施と報告について

次回のCPMSニュース発行は年明けに予定をしていますので、少し早いですが年末年始の検査実施についての注意点を記載させていただきます。

今年の年末年始は、12月29日(火)～1月3日(日)までの6日間を予定されているご施設もあるかと思います。**このような年末年始の休業時におきましてもCPMSの基準に応じた血液検査を行っていただく必要があります(※1)。**

大変お手数ではございますが、必要に応じて事前に検査日の確認を行っていただき、通常通りの検査と報告をお願い申し上げます。

なお、条件を満たしている場合に限り、定められた日までに「CPMS検査日変更に関する事前報告書」をCPMSセンターにWeb申請またはFAX送信いただくことで、検査日を変更(血液検査期限日+1日)することができます(※2)。

※1 第27回クロザリル適正使用委員会(2015年9月16日開催)において、医療機関や医療現場の状況とご要望を考慮して、年末・年始などの長期休業時の血液検査実施の間隔を医療従事者の判断に委ねることに関して改めて審議が行われました。審議の結果、「医療現場のご負担は十分理解できますが、添付文書を逸脱することになるような状況を委員会として容認することはできません」との見解が、満場一致で確認されました。

※2 第15回クロザリル適正使用委員会(2012年9月25日開催)での承認および規制当局の了解を得て運用が開始されました。

CPMSセンターWeb siteから、検査日を変更できる条件および手順の詳細、また、クロザリル適正使用委員会からの指示内容の抜粋は [CPMSニュース Vol.66 2026年Spring号](#) で詳細を掲載しておりますので、改めてご確認をお願いいたします。

CPMS登録保険薬局での院外処方箋応需の資料掲載場所について

処方箋応需後の手順は、CPMSセンターのホームページをご確認ください。

「CPMSセンターホームページ」([CPMSセンター | Novartis](#)) → 「サポート資料」([サポート資料 | Novartis](#)) → 「ダウンロードできる資料」の一番下に「CPMS登録保険薬局でのクロザリル院外処方箋応需の手順」([院外処方箋応需の手順 | Novartis](#)) が掲載されておりますので、ご確認ください。

クロザリルおよびCPMS関連 Web site一覧

便利なWeb siteのURL一覧です。ご活用ください。また、ブラウザの「お気に入り」に登録すると簡単に閲覧ができます。

※2022年12月20日に行われたCPMSセンター並びにクロザリル適正使用委員会のホームページのリニューアルに伴いURLが変更されていますので、ご注意ください。

サイト名	URL
eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス)*	https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/login/LogoutPage/logout.do
CPMSセンター*	https://www.cpms.novartis.co.jp/
CPMS検査日変更に関する事前報告書*	https://www.cpms.novartis.co.jp/interval_download
eCPMS FAQ*	https://www.cpms.novartis.co.jp/faq
CPMSニュース*	https://www.cpms.novartis.co.jp/news
サポート資材*	https://www.cpms.novartis.co.jp/support
CPMSセンター 資材発注フォーム*	https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=qcr-pegio-463054dceb1e838661afd82fcd425463
クロザリル適正使用委員会	https://www.clozaril-tekisei.jp/
クロザリルに関する各種資材・様式	https://www.clozaril-tekisei.jp/materials
CPMS登録情報の変更*	https://www.clozaril-tekisei.jp/change-registration-information
クロザリル錠	
ご使用の患者さま	https://www.okusuri.novartis.co.jp/clozaril
医療関係者の皆さま	https://drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril

※ Web site内に掲載されているPDF様式は直接文字入力が可能です。

※ *マークがついているものはCPMS登録医療従事者にのみお知らせしているWeb site・Webページです。

1. インフルエンザ等の感染症にかかると、白血球が一時的に減少する可能性があるためご注意ください

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスに感染すると、白血球が一時的に減少することがあります。

これからインフルエンザ等の感染症の流行時期となりますので、**採血の結果、レッドを確認した場合は、予定外の採血であっても、CPMS運用手順11.1血液検査結果による投与中止の手順**に則り、速やかに本剤の投与を中止し、手順に定める必要な対応を行ってください。また、レッドの検査結果は必ずeCPMSへ記録し報告いただきますようお願いいたします。

(参考)

2024年12月から2025年2月までの間、レッドとなった患者さんの数が一時的に増加いたしました(図1)。

これはインフルエンザなどの感染症の流行も関連していると思われます(図2)。

図1：レッド症例数/発現率の推移(2020年1月～2025年5月)

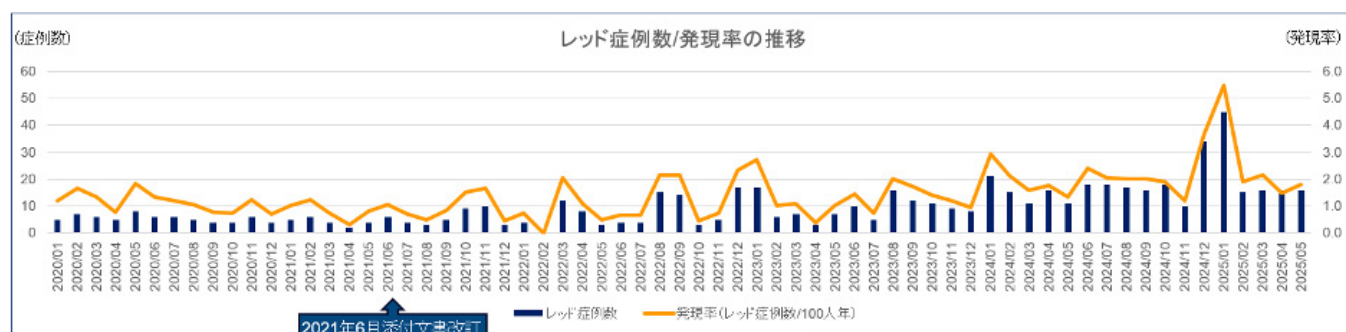


図2：「インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移(全国)」*

*：厚生労働省Web site(インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移 | 厚生労働省)より引用

期間：2023年19週～2025年19週まで



● インフルエンザ、● 新型コロナウイルス感染症

2. 患者さんが他医療機関・他診療科にて治療を受ける場合、本剤投与中止基準を共有いただきますようお願いいたします

他医療機関または他診療科との連携が必要となる場合には、患者さんの安全性配慮のため、以下の点に注意してご対応ください。

- 他医療機関または他診療科とは、本剤投与中止基準(具体的な白血球・好中球数の値)および投与中止後の手順(CPMS運用手順 11項「本剤の投与中止手順」)を共有してください。
- 他医療機関または他診療科における治療中にレッドが発現した場合に備え、CPMS登録医と他医療機関または他診療科の担当医が速やかに連携をとれるよう、体制を構築してください。
- 他医療機関がCPMS登録医療機関である場合においても、他医療機関のCPMS登録医が患者さんの採血スケジュールを把握し、タイムリーに採血結果を確認いただくよう、依頼してください。

例：患者さんが、他CPMS登録医療機関における精神科以外の診療科にて治療/入院となる場合等

本件に関して、ご不明な点等がございましたら、ノバルティスファーマのクロザリル デジタルコミュニケーターへのメール連絡、または、クロザリル適正使用委員会 Web site のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
 なお、二次元コードからもアクセスいただけます。

【お問い合わせ先】

クロザリル デジタルコミュニケーター (クロザリルとCPMSについて、幅広いニーズに対応いたします)	クロザリル適正使用委員会
clozaril.remote@novartis.com	お問い合わせ (Direct link)
	

※読み取りにくい場合は二次元コードを拡大しお試しください。

ご注意ください — CPMS 規定不遵守例 —

2026年1月1日から2026年8月31日までに報告があった事例を紹介させていただきます。

※クロザリル適正使用委員会との協議により、2013年まで累積数にて報告してきたCPMS規定違反数について、2014年から単年度ごとの報告とすることになりました。

登録数

登録医療機関数：715施設 登録患者数：27,784人

CPMS 規定違反・警告内容

【検査未実施：17件】

規定の間隔以内に検査を実施しなかった。

【報告遅延：472件】

検査は実施していたが報告が遅れてしまった。

【血糖モニタリングの警告：7件】

血糖・HbA1c未実施。

【その他：2件】

報告遅延を防ぐために

ポイント①

血液検査結果は、採血当日中(24時まで)にeCPMSで報告書を作成し送信してください。規定通りの検査間隔で検査を行っていても、検査実施日より後の日に報告を行った場合は、報告遅延となりますのでご注意ください。

- 採血日＝検査実施日＝報告書送信日 となるようにしてください。
 - 処方検査実施日より後の日に行う場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
 - 次回検査期限より前に検査を行った場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
- CPMS規定による検査以外にイレギュラーに検査を行った場合の報告については、特に必須ではありませんが、送信する場合は検査実施日当日中にお願います。
- 初回報告書のみ、投与開始日の10日前までの検査結果を使用することができます。

ポイント②

eCPMSによる検査報告は、処方ごとではなく規定の検査ごとに行ってください。

- 検査実施日ではない日にクロザリルの増量を行うなど処方に変更があった場合は、eCPMSで報告する必要はありません。
- 今回の検査実施日から次回検査予定日までの間に処方変更の予定がある場合、処方欄の「今回の投与量」には、今回の処方の初日の用量をご入力ください。
- 投与中止(血液検査結果以外の理由)・休業後も、4週間はそれまでの検査間隔でフォローアップ検査と報告が必要です。

eCPMSにおけるCPMS規定違反数の表示について

クロザリル適正使用委員会との協議により、2011年より注意喚起のためにeCPMSに表示されるCPMS規定違反数の表示時期が変更されました。表示が消えても違反数にはカウントされ、厚生労働省等の規制当局やクロザリル適正使用委員会への報告対象となります。患者さんの安全性確保のため、引き続きCPMS規定の遵守をよろしくお願いいたします。

CPMS サポート資材の発注・ご意見・ご要望・CPMS ニュース表紙の灯台写真を受付中です

【CPMS サポート資材発注方法】

- ① Webフォームで発注：「[こちら](#)」をクリック
 - ② E-mailで発注：「医療機関名・所属科名・氏名・希望の資材名・部数」を記入し cpms.japan@novartis.com に送付
- ※資材一覧は「[こちら](#)」をクリック(CPMSセンターWeb site「CPMS サポート資材」をご参照ください。)

【ご意見・ご要望・灯台写真】

上記E-mail(CPMSセンター)宛にお送りください。お送りいただいた灯台写真を紙面に使用させていただく際には、ご連絡させていただきます。お送りいただいた写真が規格に合わない場合は使用させていただくことができませんが、ご了承ください。

登録医療機関

715施設

2026年8月31日現在

公表医療機関

682施設

2026年9月4日現在

患者登録済み

651施設

2026年9月4日現在

登録患者

27,784人

2026年8月31日現在

登録医療従事者

30,597人

2026年9月4日現在

※「登録医療機関」および「登録患者」はCPMSセンターの集計、その他はクロザリル適正使用委員会Web siteより引用しています。

<https://www.clozaril-tekisei.jp/registered-medical-institutions>



CPMS

ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

〒105-6333 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー

お問い合わせ先：0120-977-327 (9:00~17:45 土・日・祝日、当社休日を除く)

※内容を正確に把握し、回答および対応の質の維持・向上のため通話を録音させていただきます。

eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス)： <https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/>

CPMS00010PU(0068)

2026年10月作成